

しおがまっ子通信



第7号 令和元年7月
 発行/塩竈市政課
 〒985-8501 塩竈市旭町1-1
 電話 022-355-5728
 FAX 022-367-3124
 対象小中学生 2,351人
 小4:375人 小5:391人
 小6:394人 中1:389人
 中2:395人 中3:407人
 (R1.6.30時点)

しおがま ゆうめい 塩竈の有名なものって なあに? まがき しま へん 籬が島 編

しおがま しうおいち ば ちか あか ほし か
 塩竈市魚市場の近くにある赤い橋が架かって
 いる島を知っていますか? 今回は、文化庁の
 「日本遺産」や国の名勝「おくのほそ道風景地」
 に指定されている籬が島を紹介します。



いつから有名なの?

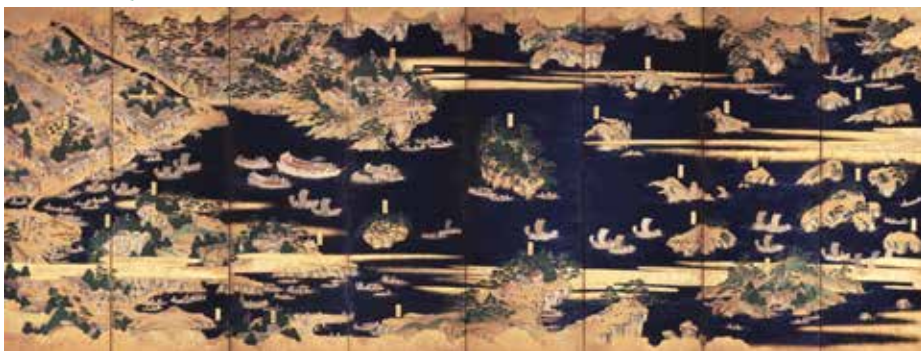
籬が島は、1000年以上前の平安時代から、和歌を詠むときの「歌枕」として盛んに使われ
 てきました。歌枕とは、和歌の題材として取り上げられた名所や旧跡のことです。
 江戸時代に活躍した松尾芭蕉は、東北地方の歌枕を巡る旅をしました。旅の様子や各地で
 詠んだ俳句をまとめた「おくのほそ道」には、籬が島を見たときの感動が記されています。



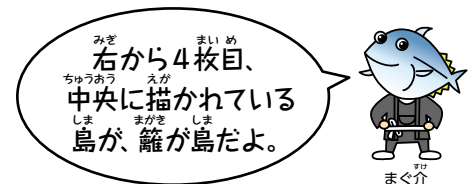
なんでこういう島の名前なの?

まがった き じょうず つか しおがまじんしゃ た まが きみょうじん かみさま しま
 曲がった木を上手にを使って鹽竈神社を建てたとされる曲木明神という神様がこの島にまつられています。そこから
 曲木と名付けられ、後に「籬」の字が当てられるようになりました。島にある籬神社では今も神事が行われています。

昔と今はどう違うの?



左の絵は江戸時代の塩竈が描かれています。塩釜湾内には大小たくさんの島がありました。



▲「塩竈松島図屏風(右隻)」福岡市美術館蔵

塩釜湾は100年ほど前から大きな開発が進められ、近代的な港が整備されました。現在、塩釜湾には籬が島をはじめいくつかの島が残るのみとなっています。籬が島は、開発が進む前の風景を残す貴重な島です。夏休みは、昔の人たちが和歌に詠んだ籬が島に行ってみましょう。

まがき しま わた び
籬が島に渡る日
 と き (土、日、祝) 8:00~16:00

